

当協会「法人化30周年記念式典」の挙行について

当協会は、昭和62年の法人化から30周年を迎えたことから、10月11日、法人化30周年の記念式典を行いました。

式典は、小松裕氏による「国政展望とこれからの警備業」と題した記念講演を幕開けに、第二部記念式典、第三部祝賀会の3部構成で行われました。記念式典には、阿部長野県知事、垣内長野県会議長、警察本部金子生活安全企画課長、福島全国警備業協会専務理事をはじめ、多くの来賓に花を添えていただきました。

記念式典冒頭における竹花会長の式辞では、「創成期は、組織・体制の強化、事業内容・教育の充実を図り会員の拡充を果たした。その後、長野冬季オリンピック警備等を経て、業界の更なる発展を目指し、会員の法令順守、経営の健全化と持続性、社会貢献活動の活発化を目的に協会活動を進めている。今後、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを迎えることから、本式典を契機として、会員各社のレベルアップと団結を図り、高いハードルを越えて行きたい」との決意が述べられました。

また、式典に先立ち、協会役員としての長年の功労で、浅妻豊、前澤清隆両理事の警察本部長・当協会長の連名表彰、協会創設期からの会社(16社)表彰が行われました。

